

AMBITION

北海道大学病院 臨床研修センター Resident NEWS letter 2019 season3 (17) 2019.12.03発行

鹿児島地域医療研修 / グアム研修 特集

～鹿児島地域医療研修を終えて～南方見聞録 川崎 祐寛

この度鹿児島地域医療研修に参加させていただきました。鹿児島県本土の出水総合医療センターで1ヶ月、種子島の種子島医療センターで1ヶ月の計2ヶ月の研修でした。なぜ申し込んだかという、『ノリ』です。南の島で研修ができるなんて絶対に楽しいやんと思い、申し込みました。やはりとても楽しかったです。言葉や文化、習慣、気候、虫の多さ、ゴ○○など何もかもが異なっていました。患者の言葉を理解できなかつたり、焼酎の注ぎ方を知らなかつたり、熱帯夜で眠れなかつたり、両手に殺虫剤をもち宿舎で格闘したりしました。そんな慣れない土地でしたが、上級医やコメディカル、研修同期に支えられ研修を送ることができました。病院研修はもちろんですが、仕事終わりに海に行ったり、休みの日に九州中を旅行したりとプライベートも充実していました。2年間という短い初期研修の中でこのような経験ができたのは僕の人生の中で宝であると感じます。



『鹿児島地域医療研修を終えて』 渡部 克将

7、8月に鹿児島地域医療研修をさせて頂いたため、ご報告させていただきます。

7月に鹿屋市の恒心会おぐら病院、8月に種子島の種子島医療センターで研修を行わせて頂きました。おぐら病院では整形外科で研修を行い、1ヶ月で40例ほどの手術に入らせて頂きました。執刀も3例(アキレス腱修復術、ガンネイル挿入術)行わせて頂き、非常に充実した研修を送ることができました。鹿屋市は大隈半島の中核都市であり、鹿児島市内へは車+フェリーで1時間ちょっとで行くことができます。病院よりレンタカーを貸して頂いていたこともあり、休日には鹿児島から新幹線で福岡へ行き観光や講習会に参加したり、同期の鹿児島大学の研修医とゴルフに行ったりしていました。

8月は種子島の種子島医療センターで研修を行いました。種子島では主に内科研修を行い、一般外来や救急外来の初療対応などを主に行っていました。研修医は即戦力と考えられており、やる気があれば多くのことを学ぶ事ができます。休日はサーフィン、ゴルフをしたり宇宙センターに行ったりしていました。

2ヶ月間北海道を離れて研修を送り、忘れることのできない貴重な時間を過ごすことができました。一生に一度の経験だと思うので、ぜひ鹿児島地域医療研修を選択することをお勧めします。

鹿児島地域医療研修を終えて 関 太樹

私は今回、鹿児島県本土の研修として出水総合医療センターで、離島研修として種子島公立病院で研修をさせて頂きました。鹿児島地域医療研修については初めて知った時から興味があり、実際に鹿児島で研修できたことを嬉しく思いますし、異なった環境での研修は実りも多きものとなりました。例えば、マムシ咬傷や水俣病など普段見られない疾患を経験できたことは一つの収穫です。プログラム内容としても充実しており、初めての一般外来診療、在宅医療、へき地医療、医療資源の限られた中での離島医療など、多くの貴重な経験をさせて頂きました。

また2ヶ月という期間では、旅行とは違い、「暮らす」ことで実感できるその土地の文化や空気というものがあります。例えば私は、スーパーの売り場に並んだ鳥刺し・地魚・黒豚・豊富な焼酎などを手に取る時、ゆったりした島の時間の中で日が沈むまで夕日を眺めている時など、しみじみと鹿児島での生活を体感することができました。

長期間遠く離れた土地に研修で行けるというのは非常に貴重な経験です。もちろん観光もたくさんできます。興味をもったあなたもぜひ鹿児島での研修に挑戦してみてください。



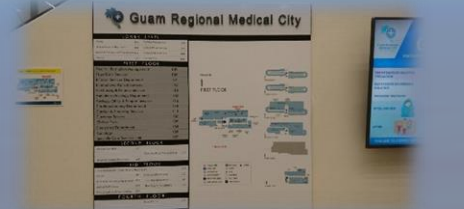
私は9月9～15日にかけて国際的医療人育成プログラムの一環でGuamのGuam Regional Medical Cityにて研修を行いました。今回の研修は日本の医療ともアメリカ本土の医療とも全く異なる、Guamの特殊な島国医療の実際を学び知見を広げる良い機会となりました。

夜間の勤務では心筋梗塞や敗血症、ご高齢で終末期の患者まで様々な患者と出会いました。診療の中で、死生観やそもそもの医療・患者教育の水準の違いを感じる事が多々ありました。その中で特に印象的であったことをご紹介します。

日本において、家族への終末期ICで「神様」が出てくる事はまず殆どありませんが、Guamでは比較的普通に会話の中で出ます。「主が彼をご自身の元に戻そうとしている」と患者家族に上級医が説明していた時は新鮮な驚きがありました。また、患者の死に対して、家族は寛容な印象を受けました。「何が何でも生かしてほしい」ではなく「自然の流れに任せたい」という言葉を聞いた時は日本との違いを痛切に感じました。

Guamの患者は本土とは様々な点で異なります。患者の病気への理解が不足しているケースも少なくなく、島国⇔離島のような状況なので高度医療へのアクセスが困難な事もあります。日本も例外ではありませんが、それでも大きな地域差なく医療へアクセスできるという利点はあると感じました。日本とGuamそれぞれの医療の長所短所を知ることができたのは貴重な経験です。

今後、このプログラムに参加される方の参考になれば幸いです。



今後の予定

- 医学生 ● 6年生・既卒生 ● 研修医
- 後期研修医・専攻医 ● 指導医

- 12月11日(水) ● 第15回研修医セミナー
(知って得する糖尿病の病歴の取り方とインスリン指示の出し方)
- 12月12日(木) ●● 多職種合同研修 / 医師臨床研修専門委員会
- 12月25日(水) ● 第16回研修医セミナー (輸液について)
- 01月14日(火) ● 第17回研修医セミナー (臨床研究について)
- 01月25日(土) ● 基礎的臨床能力評価試験 (JAMEP)
- 01月28日(火) ● 第18回研修医セミナー (心エコーについて)
- 01月30日(木) ●● 医師臨床研修専門委員会
- 02月14日(金) ● 医師臨床研修管理委員会 (ニューオータニイン札幌)
- 02月16日(日) ●●● 第15回JMECC
- 02月19日(水) ● 第19回研修医セミナー (絶対役立つ耳学問!)
- 03月10日(火) ● 第20回研修医セミナー (死亡診断書について)
- 03月13日(金) ●● 研修修了発表会・修了証書授与式・祝賀会
- 03月22日(日) ●● レジナビFair2020東京
- 03月27日(木) ● 令和2年度Bコース研修医オリエンテーション
- 04月第1週 ● 令和2年度採用者オリエンテーション
- 04月03日(金) ●● 新規採用者多職種合同研修・歓迎会

修了発表会・祝賀会のお知らせ

日時: 2020年3月13日(金)
15:00～19:30
場所: ニューオータニイン札幌
中央区北2条西1丁目1-1

初期研修医は
1年目も2年目も
たすきがけ研修中の方も
全員参加です。

今年はどうな発表があるでしょうか?
楽しみですね!

次号のお知らせ
鹿児島地域医療研修報告その2
修了発表会報告
などなど・お楽しみに♪



【ご意見・お問い合わせ】
北海道大学病院 臨床研修センター
〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目
TEL: 011-706-7045
MAIL: sotsugo@med.hokudai.ac.jp